

笑顔で元気いっぱい

徳倉小学校 学校便り
平成30年8月29日

35日間の夏休みが終わり、学校再開となりました。今年の夏は、いろいろな話題がありました。100回記念の高校野球に沸き、後半はジャカルタで行われているアジア大会に注目が集まりました。いずれも、暑さとの戦いでした。ほんとうに熱かった夏休みでした。学校では、プール開放を7回計画しましたが、熱中症指数が危険に達したため、1回しか実施できませんでした。6年生の保護者の皆様には、救急法講習会に参加していただいたり、当番の日に合わせて予定を空けていただいたりしましたが、子どもたちの安全を最優先に考え決断しました。ご理解ください。9月中旬頃までは残暑の厳しい毎日かと思います。10月には、4年生の市内音楽会や6年生の修学旅行があります。引き続き、ご家庭や地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。

活躍する徳倉小の子どもたち その1 (裏面あり)

「東海大会出場」

6年 今村 好夏

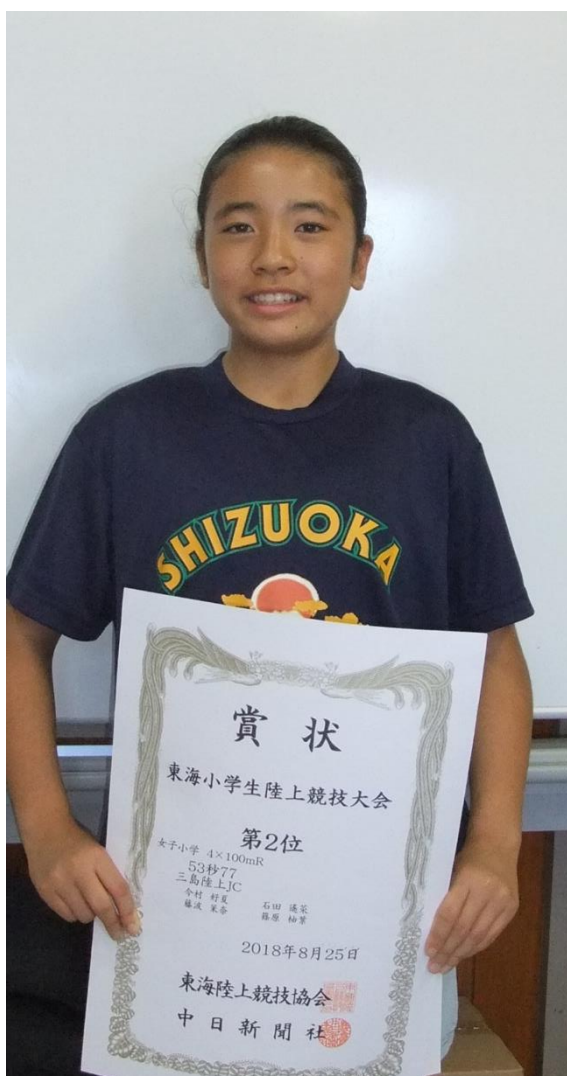
私は、6月に草薙陸上競技場で行われた「全国小学生交流陸上競技大会静岡県選考会」に出場しました。種目は、「女子4×100mリレー」です。このリレーには40チームが出場し、その中で「三島陸上ジュニアクラブ」として、54秒52の記録で3位となり、東海大会に出場できることになりました。リレー以外にも「走り幅跳び」に出場し、57人中4m45の記録で、5位になりました。東海大会出場が決まり、とてもきつい練習が始まりました。そして合宿では、少し坂のあるところで100mダッシュを10本やったり、階段ダッシュをやったりつらい練習を積み重ねてきました。そして東海大会当日、2日間のうちの1日目の4×100mリレーに静岡県代表として出場しました。静岡県以外に愛知県・岐阜県・三重県・長野県から全部で15チームが出場していました。予選は2位で、決勝に進むことができました。決勝では、愛知のチームが52秒71ととても速く、私たちは自己ベストの53秒77を出しましたが、2位でした。とても悔しい気持ちはあったけど自己ベストが出たのはうれしかったです。来年はもう出られない大会なので、最後の東海大会でいい記録を残せたのと、いい思い出をつくることができ本当に良かったです。



「夏の宝物」

6年 篠原 柚葉

6月17日に「全国小学生交流陸上競技大会静岡県選考会」がありました。私は三島陸上ジュニアクラブの一員として、全国大会をめざして「80mハードル」と「4×100mリレー」に出場しました。今年は目標を決めてトレーニングをしました。食べたいおかしもがまんしました。結果は、ハードルが21人出場した中で、予選は14秒48で2位となり決勝に進みました。決勝は予選以上の14秒07のタイムが出ましたが、5位という結果でした。たくさん練習してきたので、くやしくてたくさん泣きました。リレーも予選を勝ち抜き、決勝に進み54秒52の記録を出し、静岡県3位として東海大会出場を決めました。8月25日東海大会ではリレーに出場し、これまでと同じく、第4走(アンカー)を走りました。予選のタイムが54秒32でした。決勝はドキドキしましたが、自信をもつてのぞみました。理由は、泣きながらつらい練習をのりこえてきた仲間と一緒に走ったからです。すべてのバトンがタイミングもバッチリ合い、タイムは53秒77自己ベストで2位でした。優勝をねらっていたので、すごくよかったです。でも、自分たちの走りをして、大会新記録を出した愛知県のチームに差をつけることができたので良かったです。一生に一度のいい思い出になりました。チームのみんなと協力してとれたメダルは、宝物です。



「全国大会に出場して」

6年 太田 海翔

ぼくは、2年生の9月に徳倉パワーズというソフトボールチームに入りました。なぜかというお兄ちゃんが入っていて、8月に行われた全国大会に応援に行って、ぼくも全国大会に行きたいと思ったからです。5月に、6年生にとって最後の全国大会予選が始まりました。1回戦の相手は、2回連続で負けているチームでした。最初は勝てるかどうか、とても不安でしたが、勝ったときはものすごくうれしくて、ほっとしました。決勝では、春の全国大会予選で負けてしまったチームと戦いました。ぼくはこのチームを想定してお父さんやお兄ちゃんに協力してもらい、朝練習をがんばったり、平日にもコーチにピッチングをうけてもらいました。しかし、2対1で惜敗し、ものすごくやさしかったです。結果は、静岡県2位でしたが、8月に愛媛県で行われる全国大会に出場することが決まり、とてもうれしかったです。全国大会の1回戦は、初戦なのできん張したけど石川県のチームに12対5で勝ちました。2回戦は、山口県のチームと戦いました。2点先制されてしまったけど追いつき、延長戦でのピッチングは、中学生みたいに背の高い相手に、「絶対に打ちとってやるぞ」という気持ちでいいピッチングができて、サヨナラ勝ちをしました。とてもうれしかったです。3回戦は、鹿児島県のチームと戦いました。ぼくは、一番いいピッチングができ、両チームとも0点が続きました。でも、1点とられてしまい、1対0で負けてしまいました。とてもやさしかったけど、自分のピッチングができたので、とても楽しかったです。全国大会はベスト16という結果で終わってしまったけど、仲間と心を一つにがんばれたので、とてもいい経験になりました。これで終わりではないので、このくやしさを忘れずにこれからも努力していきたいです。

活躍する徳倉小の子どもたちをご紹介します。自薦他薦は問いませんので、学校を代表して文武両面で優れた実績がある子どもたちを紹介していきます。



「全国大会から学んだこと」

6年 永田 果澄

私達徳倉パワーズは、夏休みに愛媛県松山市で行われた全国大会に出場しました。全国大会は、8度目の出場になりました。徳倉パワーズはふだんから全国大会出場に向けて、練習をがんばっています。5月に行われた予選では、いままでずっとまけてしまっていた下野と1回戦であたることになり、がんばって絶対に勝とうと思いました。そして、勝つことができました。すごくうれしかったです。でも、決勝戦で袋井に負けてしまいました。2位で全国大会出場が決まりました。私は、予選ではあまりいい結果が残せず、みんなに助けもらったので、全国大会ではチームのためにプレーをし、いい結果が残せるようにがんばろうと思いました。そしてむかえた全国大会では、すごくきん張しましたが、1試合目は石川県のチーム、2試合目は山口県のチームに勝ちました。3試合目は鹿児島県にチームに接戦でしたが、0対1で負けてしまいました。あと少しだったけど、一步とどかずベスト16という結果で終わりました。私達の目標は優勝だったので、ベスト16という結果がとてもくやしかったです。私は、いいプレーも悪いプレーもあったけど一生けん命がんばりました。これで、私達6年生の全国大会は終わってしまったけど、これからまだ試合がたくさんあるので、1試合1試合大切に、一生けん命がんばろうと思います。



「徳倉パワーズに入って」

6年 岩崎 大昂

ぼくは、5年生の半ばにキャプテンの太田君にさそわれて、徳倉パワーズに入りました。パワーズはおもに、バッティングやノック、試合形式の練習をやっています。バッティングでは、ガッチャンコのボールを打っています。また、大人に投げてもらい、その球を打っています。ノックでは、コーチが打って、そのボールを受けます。試合形式では、2チームに分かれてやります。また、走るいの練習で、打つ・走るチームと守るチームに分かれます。全国大会出場をかけた県大会予選では決勝戦までいって袋井とあたってぎりぎりのところで負けてしまってくやしかったです。でも、全国大会に切符をもらいました。全国大会では、3試合目までいって鹿児島県のチームと戦いました。終盤に1点とられてしまい、そのまま試合は終わってしまいました。それでも何とかベスト16のいう記録を出すことができました。でも、くやしかったです。残りわずかな試合でも、優勝を一つでも多くしたいです。

